



進路だより

令和4年3月22日発行 第3号

茨城県立常陸太田特別支援学校

進路指導部

3学期は、新型コロナウイルス蔓延防止措置に伴い校内の取り組みが主体となりました。「本物に触れながら学ぶ」経験を生かして実践的な取り組みをしたり、卒業生から経験したことを学んだりするなど、内容や実施方法を変更しながら工夫して学習を行いました。

小学部

「ありがとう大作戦」



2月28日から3月4日までの一週間で、「ありがとう」の気持ちをこめて、校内の清掃に取り組みました。6年間の校内及び校外における「お仕事体験」での学びを生かし、音楽室、グラウンド、昇降口、会議室などのお掃除に取り組みました。

【図書室ありがとう】

本棚にある、閲覧し終えた本の向きが揃うよう、向きを確認しながら1冊ずつ入れ替え作業をしました。また、借りる人がすぐに見つけることができるよう、シリーズごとにまとめて見やすくレイアウトしました。

中学部

「職場体験学習のまとめをしよう～ワークショップ～」



店名「体験商店」
野菜の袋詰めワークショップを実施しました。野菜ごとに決まった数を数え、陳列する商品を作りました。

職場体験学習のまとめとして、10月に体験した事業所での仕事をワークショップの形で、友達に体験してもらう学習を行いました。体験先で学んだ「気持ちの良いあいさつ」や「丁寧な清掃」「野菜の袋詰め」などグループごとにワークショップの内容を工夫しました。1年間を振り返り、仕事に必要な力や自分の得意、不得意を知ることができました。



店名「ガソリンシェル」
オイル点検のシール貼りや、給油体験のワークショップを実施しました。お客様への気持ちの良い挨拶も行いました。

高等部「先輩から学ぼう」

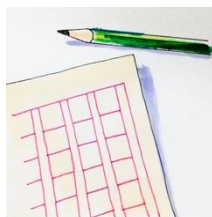


卒業した2名の先輩方より、現在の仕事や、就労に向けて学校で学んだことなどを聞く機会をもちました。

本校のホームページにアップされている一般企業と就労継続支援事業所でそれぞれ働く、2名の先輩の話を見聴しました。先輩が体験したことと自身の経験を重ね合わせながら、聞いているようでした。また、視聴の際にメモを取る様子が見られました。

視聴後、感じたことや、学校生活の中で実践していきたいことなどを、感想文に表していました。一部をご紹介します。

【生徒の感想文】



勤めていた企業の閉店が決まってもすぐに再就職できたのは、挨拶と体調管理、学校での普段の生活を頑張ったからということが分かりました。私は来年就職になります。自分でできることを一つでも多く頑張りたいと思いました。

鈴木 一喜さん

職場ではメモを取ることに、挨拶をすること、仕事を休まないことが大切だと思いました。先輩は立ち仕事をやっていて、体力も必要なんだと思いました。仕事の大変さがよく分かりました。

大貫 春樹さん

先輩が言うように、自分から挨拶をしたり、自分でできることを見つけてやったりしたいです。今はインターンシップができませんが、自分の体調管理をします。

山口 涼さん

時間を守る、分からないことは聞く、体調が悪い時には知らせるなど、当たり前のことができるように頑張りたいと思いました。将来に向け、今から自分でも意識して、特に、あいさつは頑張りたいです。

齋藤 忠幸さん

先輩の話から、大切だと思ったのは、やはり信頼関係です。仕事先の人とどのように信頼関係を築いているのか、仕事はどのようにして覚えていくのか、もし先輩に直接会うことができたならもつと色々なことを教えてもらいたいと思いました。

助川 弘雅さん

自分の体調管理や挨拶が大事なのだと思います。先輩は、初めは品出しをしていて、今は発注の仕事もしていて、一生懸命行なっている色々な仕事を任されるようになるのだと思いました。メモを取ったりすることも大事なことも分かりました。

野上 美喜さん

コマツ茨城工場 BCC 様より トランシーバーセット寄贈

インターンシップ等でご協力いただいている、コマツ茨城工場 BCC 様よりトランシーバー5セットと、遠くまで電波を飛ばせる中継器を寄贈いただきました。今後、登下校指導や児童生徒の引き渡し時の教員間の連絡に活用していきます。ありがとうございました。

